

事業番号	01 02 01	事業改善シート（令和2年度実施事業分）	当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	防災対策推進事業		部局	危機管理部	課・室	危機管理防災課
			実施期間	S38～	E-mail	bosai@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標						
総合的に展開する重点政策	4-1 県土の強靱化					

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】	<ul style="list-style-type: none"> 近年、全国で頻発する地震や豪雨などの自然災害を教訓として、新たな課題が指摘されている。 大規模災害の発生に備え、関係機関との連携や、訓練や備蓄など平時からの備えの重要性が増している。
	【目指す姿】	<ul style="list-style-type: none"> 市町村や関係機関と連携し、被害を最小限に抑えるための、迅速かつ的確な対応を図るための危機管理体制の強化 災害発生時に役立つ効果的な訓練実施や燃料備蓄などの備えの充実、避難行動に結びつく効果的な呼びかけの検討など、平時に行うべき取組の推進
	【実施内容】	災害対応用石油製品備蓄促進事業、御嶽山火山マイスター支援制度

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]							区分(単位:千円)		R1年度	R2年度	
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	目標値	達成状況	事業 コスト	前年度繰越			
1	御嶽山火山マイスター数	11人	14人	↑	16人	↑		17人	未達成		
2											
3											
4											
								現計予算	3,100,653	3,527,272	
								合計(A)	3,100,653	3,527,272	
								うち一般財源	1,273,445	1,170,784	
								決算額(B)	3,048,131	3,435,931	
								職員数(人)	7	7	

成果指標 設定理由	各種災害による県民の被害を最小限に抑え、県民の生命と財産を守るために必要な項目に目標を設定
--------------	---

達成状況 の分析	<p>【御嶽山火山マイスター数】</p> <p>マイスター志望者等を対象とした基礎講習会を開催し、要件を満たした申込者を対象に認定審査を実施し、審査の結果、新たに2名のマイスターを認定した。</p> <p>新規マイスター認定に向けて、御嶽山火山マイスター制度及び活動についてより積極的な周知に努める。</p>
-------------	--

主な取組	<p>✓ 噴火災害を語り継ぎ、木曽の魅力を発信する「御嶽山火山マイスター」を育成</p> <ul style="list-style-type: none"> R2年度登録者数 2人 (H29年度制度創設からの登録者数 16人) 御嶽山火山マイスター志望者向け講習会の開催 (R2.12月、R3.1月) 参加者10人 <p>✓ 「猪の満水」(令和元年東日本台風災害) デジタルアーカイブ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年東日本台風災害の記録や記憶を保存・継承するため、信州大学と共同で事業を実施。 被災、復旧、復興に関する写真、動画等の資料を個人、団体、県・市町村等から収集。 災害情報の基盤(専用WEBサイト)を構築し、収集した資料の一部をデモサイトで公開。
------	--

2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<p>【御嶽山火山マイスター認定・運営支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 御嶽山火山マイスターネットワークの今後の活動方針について、御嶽山ビジターセンターの計画と併せた検討が必要。 <p>【「猪の満水」(令和元年東日本台風災害) デジタルアーカイブ事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 被災が広範囲のため、多くの関係者から幅広く資料収集を行うことが課題 	<ul style="list-style-type: none"> ビジターセンターの計画と併せて、マイスターネットワークの今後の活動形態や方向性について、ネットワークと自治体双方で調整・検討する。 <p>【「猪の満水」(令和元年東日本台風災害) デジタルアーカイブ事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本デジタルアーカイブを通じた災害伝承について、信州大学、関係市町村と検討を進める。

事業番号 01 02 01 細事業一覧（令和2年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	防災対策推進事業	部局	危機管理部	課・室	危機管理防災課
-----	----------	----	-------	-----	---------

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
1	防災会議費	0 千円	117 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	防災会議	直接	災害対策基本法、県地域防災計画に基づく災害・減災対策の推進に関し、防災関係機関等により協議を実施。 【委員会：令和3年3月10日 出席者：防災会議委員60名】

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
2	災害対応用石油製品備蓄促進事業	43,766 千円	3,966 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	災害対応用石油製品備蓄費	負担金	災害時に病院などの重要施設や緊急車両の燃料を確実に確保するため、発災から1週間の燃料にあたる重油やガソリンなどの一定量を中核給油所等に備蓄。 【中核SS41箇所、小口燃料配送拠点21箇所、配送拠点9箇所、住民拠点SS52箇所、燃料備蓄1,333KL】

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
3	名古屋大学火山研究施設運営支援事業	11,083 千円	11,083 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	名古屋大学火山研究施設誘致事業負担金	負担金	名古屋大学寄付講座により、木曾町三岳支所内に名古屋大学御嶽山火山研究施設を設置し、火山専門家と研究補助員が常駐して御嶽山の調査研究を実施。また、活動の中では地元住民を対象とした普及啓発活動も行い、地域に根差した火山防災の普及に重要な役割を果たしている。

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
4	御嶽山火山マイスター認定・運営支援事業	293 千円	267 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	研修会等開催経費	直接	御嶽山火山マイスター志望者等を対象とした研修会を開催。新たに2名の火山マイスターを認定し、制度運用開始から4年で計16名の御嶽山火山マイスターが活動している。 【研修会：R2.12月、R3.1月開催 計2回開催】

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
5	令和元年台風第19号災害被災者支援事業	1,647,763 千円	2,236,255 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	災害救助費負担金	直接	令和元年台風第19号災害において、災害救助法に基づき市町村が行った被災者への応急救助に係る費用を県が負担。 【対象：38市町村 交付額：2,153,240千円】
2	信州被災者生活再建支援補助金	補助金	令和元年台風第19号災害において、被害を受けた「半壊」世帯に対し市町村と一体となって支援を実施。 【世帯数：239世帯 補助金額：50,012.5千円】

事業番号	01 02 01	細事業一覧（令和2年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	防災対策推進事業		部局	危機管理部	課・室	危機管理防災課

細事業 No.	細事業名		R1年度 決算	R2年度 決算
6	「猪の満水」（令和元年東日本台風災害）デジタルアーカイブ事業		— 千円	9,399 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	「猪の満水」（令和元年東日本台風災害）デジタルアーカイブ事業	負担金	信州大学教育学部との共同事業として、令和元年東日本台風災害に関する被災、復旧、復興に関する写真、動画等の資料を個人、団体、県・市町村等から収集。また、災害情報の基盤（専用WEBサイト）を構築し、収集した資料の一部をデモサイトで公開中。 （資料収集等の予定期間：令和2年度から4年度まで） 【デモサイトを令和2年10月から公開、資料200点(令和2年末時点)】	

細事業 No.	細事業名		R1年度 決算	R2年度 決算
7	御嶽山ビジターセンター整備事業		— 千円	0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	展示等の設計・制作等	委託	御嶽山ビジターセンターにおいて、火山防災の普及啓発や災害の記憶・記録の伝承、自然公園の適正利用等を図るための展示等の設計・制作を実施。【事業はR3年度に実施予定】	

細事業 No.	細事業名		R1年度 決算	R2年度 決算
8	その他事業		691,793 千円	1,174,844 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	災害救助基金の増額	直接	令和元年東日本台風災害において、財源として使用した災害救助基金を法定最少額まで積立を行った。【1,094,310千円】	
2	災害見舞金	直接	令和元年東日本台風災害において、被害を受けた「床上浸水（一部損壊）」世帯に対し見舞金の支給を行った。 【世帯数：263世帯 支給金額：13,150千円】	
3	災害弔慰金補助金	補助金	令和元年東日本台風災害の被災者遺族に市町村が支払った災害弔慰金に対する補助を行った。 【対象者数：16名 補助金額：45,000千円】	
4	防災情報システムの保守管理	直接	災害時に備え、防災情報システムの保守管理を実施。令和2年7月豪雨災害等、複数の災害に見舞われたが、都度、防災情報システムにより円滑な情報共有と対策が図られた。	